

NUAL

名古屋大学全学同窓会
NAGOYA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

Newsletter

No.34 令和2(2020)年10月

NUAL (ニューアル) は Nagoya University Alumni Association の略称です。



上段左：国際開発研究科同窓会タイ支部の立ち上げおよび「国際開発フォーラム in タイ」の開催。上段右：名古屋大学中国同窓生有志と松尾総長との懇談
下段左：経済学部・経済学研究科創立百周年記念事業 国際経済政策研究センター 国際シンポジウム
下段右：“チーム保護者&大学生支援センターで名大生を支え育てよう”

Upper Left: Established Thai Branch of Alumni Association of Graduate School of International Development and held "THE FIRST INTERNATIONAL DEVELOPMENT FORUM IN THAILAND"; Upper Right: Nagoya University Chinese alumni volunteers talk with Nagoya University President Matsuo; Bottom Left: Graduate School/School of Economics 100th anniversary commemorative project : School of Economics NAGOYA UNIVERSITY Economic Research Center International Symposium; Bottom Right: Parents/guardians and the University's Student Services Center support Nagoya University students

Contents

代表幹事挨拶・報告「全学同窓会の近況」	2
NUAL Latest Activity: A Report by Chief Secretary	
同窓会ニュース	3
NUAL News	

事務局からのお知らせ	6
From the NUAL Office	

新型コロナウイルスの影響を受けて縮小版としてお届けする今号では、全学同窓会および支部・部局の近況、中国人同窓生有志による名古屋大学への寄附と松尾総長との懇談、令和元年度第2回大学支援事業採択の報告などについてお伝えします。

Due to the Covid-19 pandemic, this time we are bringing you a condensed version of the newsletter. In this issue you can read about what's been happening at NUAL and our branches, including a donation to Nagoya University from some of our Chinese alumni volunteers and their meeting with Nagoya University President Matsuo. We also report on the 2019 2nd University Support Project.

名古屋大学全学同窓会の近況

NUAL Latest Activity: A Report by Chief Secretary

名古屋大学全学同窓会 代表幹事
和田 壽弘



令和2年が始まるやいなや、海外での新型コロナウイルス感染拡大のニュースがもたらされ、4月に非常事態宣言が出された後は収束するかと思われましたが、依然として厳しい状況に直面しています。このような状況にあって、7月に九州地方を中心に全国規模の集中豪雨による甚大な被害が出ました。東海4県の山間部にも大きな傷跡が残りました。加えて梅雨の後には多数の熱中症に苦しむ方々もおられました。9月には巨大台風の襲来によって想像を超える被害を受けました。コロナ禍や災禍に遭われた方々、熱中症を発症した方々に心よりお見舞いを申し上げます。

ウイルス感染拡大を受けて、名古屋大学は豊田講堂での令和元年度卒業式と令和2年度入学式を中止しました。両式典に例年来賓としてご臨席賜ってきた豊田章一郎会長には、卒業生・修了生そして新入生への祝辞を頂戴し大学ホームページ上に掲載させていただきました。

4月には名古屋大学の方針として、密閉・密集・密接という3密を避けて社会的距離を守るために、原則として遠隔授業の実施および教職員の自宅勤務が推奨されました。全学同窓会もこの方針に則り、4月以降の2回の幹事会をメールによる会議に変更しました。国内と海外の支部活動も大きな影響を受けました。全学同窓会ホームページでもお知らせしましたように、5月に予定されていた関西支部講演会・総会が延期され、6月には岐阜支部講演会・総会の延期と遠州会総会の中止が決定されました。関東支部では本年2月に講演・交流会が開かれましたが、次回の開催が気になります。同月には、ミャンマーの首都ヤンゴンにてミャンマー支部の設立7周年記念総会が予定されていましたが、中止となりました。7月に開催予定の第4回名古屋大学同窓会サミットも延期となりました。この会は学内部局等の同窓会の代表と総長・副総長、そして全学同窓会の副会長に集まっていたいて意見交換をする貴重な場として機能してきました。これらの行事はいずれも、関係する方々のご努力によってかなり具体的な企画が煮詰まっていただけ

に残念でなりません。

思うように活動できない状況の中で、ニュースレターを通常の内容で発行することに大きな困難を感じましたが、頁数を減らして何とか皆様にご届けすることができました。

様々な行事などが中止・延期される一方で、全学同窓会は実施可能な事業を継続しています。今年度第1回目の大学支援事業の募集を行いました。申請件数は前回に比べて若干減りましたが、採択件数は減っておりません。採択事業は、「ウイズコロナ」の中で実施しようという意欲的なものばかりです。また、全学同窓会は平成16年から寄附講義としての「キャリア形成論」の支援を始め、次年度から新たに3年にわたる支援継続を決定しました。この講義は、様々な分野で活躍する卒業生を講師に招いて、1・2年生に将来の方向を考える上で良い機会を提供しています。

コロナ禍で経済的な影響を大きく受ける名古屋大学の学生のために、大学は「新型コロナウイルス感染症対策緊急学生支援基金」をいち早く設立しました。全学同窓会としても何とかお役に立ちたいと考えて、支援を申し出ました。さらに、コロナ禍で苦しむ学生の支援をどのようにするかを模索しているところでもあります。皆様からもお力添えを頂ければ幸いです。

学生支援の一環として、名古屋大学学生支援センターが行っている緊急食料支援活動への支援を、全学同窓会フェイスブックで呼びかけました。支援活動は5月末に終了しましたが、支援を受けた多数の学生の声は <<http://gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/food/index.html>>に掲載されています。是非ご一読下さい。5月には、本ニュースレターの表紙と「支部・部局便り」に報告されましたように、上海支部から松尾総長に新型コロナウイルス感染症対策のための寄附の知らせがもたらされました。海外で活躍する卒業生のこのような思いを知る時、名古屋大学で共に学んだという連帯感を強く感じ、支部のご厚情に感謝の念が湧いてきます。

毎年10月に開かれてきました大学のホームカミングデイが、今年度はオンラインでの開催となりました。皆様のお顔を直接拝見できないのは残念ですが、何とか開催したいという大学のご努力には敬意を払いたいと思います。

人々の移動が活発化した途端、新型コロナウイルスの感染拡大が起きました。医療関係者には尋常ならざるご負担があるものと推察します。この方々のみならず、社会の基盤を支えるソーシャルワーカーの方々、そして3密回避やマスク着用やうがいと手洗いの励行などを通して感染拡大の防止に協力される方々に深甚の感謝の念を禁じ得ません。

大学支援事業 採択事業

令和元年度第2回大学支援事業に13件の応募があり、審査の結果、表の5件が採択されました。

事業の内容は、実施後に本誌で紹介され、全学同窓会 HP

でも公開されます。

また、これまでに採択した事業を全学同窓会 HP で公開しています。

令和元年度第2回 採択事業

所属・職名等	申請者	事業名
国際開発研究科 国際開発協力専攻修士1年	ジャフワ アエグベ ジャン ノエル	① ASANU による異文化交流イベント ② ASANU 主催によるアフリカ地域に関する学術カンファレンス
博物館・研究員	梅村 綾子	学生とともにつくる大学博物館 ～博物館20周年～
学生支援センター・特任准教授	工藤 晋平	「大学生のコミュニケーションってどんなもの？」
大学院法学研究科 研究科長	鈴木 将文	名古屋大学法学部創立70周年記念行事
大学院国際開発研究科・教授 名古屋大学国際開発研究科同窓会・副会長	鳥田 弦	名古屋大学全学同窓会インドネシア支部ミニホームカミングデー

同窓会支援事業 NUAL Support Project

全学同窓会の活動理念に沿った名古屋大学の活動（学生活動、就職支援事業、本部・部局による行事・寄附講義等）を支援するため、公募型の大学支援事業を実施しています。

NUAL has an open invitation type support project for Nagoya University's activities (including student activities, employment support service, events and lectures) in harmony with the activity principle of the association.

チーム保護者&大学学生支援センターで 名大生を支え育てよう

申請代表者：鈴木健一
(学生支援センター 教授)

学生支援の現場では、目の前の苦戦する学生に対する支援は専門家だけが行うのではなく、保護者と大学が協働しながら支援することが求められています。普段の支援では、個別に保護者の方々に対応をしているわけですが、今回は、全学同窓会からの支援をいただくことができましたので、チーム保護者の方々や学生支援センターのスタッフが協力しながら名大生を支え育てていく契機となるプログラムを開催することができました。

2019年10月19日（土）のホームカミングデイにおいて、「明日の唄を歌おう～名大生復活物語～」と題し、不登校経験を克服した学生の保護者の方に体験談を講演していただきました。参加者は、現在、不登校の在学生の保護者の方々や青年の心理に関心を持つ一般の方々、心理的な支援を行っている専門家、高校教諭など約40名でした。体験談では、事実を知った直後の「まさか自分の子どもが・・・」、「さぼっているだけではないか？」という衝撃の段階から、少しずつ子どもの心に寄り添い、カウンセラーや精神科医に保護者の方が相談しながら大学とのパイプを増やしていった様子を語っていただきました。やがて、学生本人がカウンセラーや精神科医のもとへ相談に訪れるようになり、保護者の方も子どもを信じて待つといった達観されていくプロセスからは、苦しみを

越えたところに生まれる力強さと希望の存在を知ることができました。現在進行形で子どもの不登校に悩み苦しんでおられる保護者の方々の感想からは「少しの光が見えました」「前に進んでいこうと思いました」と、勇気や力強さが得られた様子が伝わってきました。私たち専門家にとっても心打たれる講演でした。このように、それぞれの立場から先輩保護者の体験談に胸を熱くする講演となりました。その体験談の後には交流会を開き、参加者全員で相互に青年期心性の理解や保護者の関わり方を共有する時間を設けました。そして最後はスタッフによるミニコンサートを開き、明日への希望の唄をみんなで歌いました。このプログラムが実現できたのは、全学同窓会からの支援があったからです。なお、ホームカミングデイから数ヶ月が経ちましたが、このプログラムが契機となって、現在はチーム保護者と学生、スタッフがより協働しながら、苦戦する名大生を支え育てる動きへと発展していています。



参加者で復活物語への道を語り合う

大学院国際開発研究科同窓会タイ支部の立ち上げおよび「国際開発フォーラム in タイ」の開催

申請代表者：山形英郎
(大学院国際開発研究科長・教授)

2019年11月23日(土)、全学同窓会より支援を得て、タイ王国チュラーロンコーン大学において、本事業は以下の2つの行事を開催することができました。

まず、学術的な行事として名古屋大学と学術交流協定を持ち、かつ AC21のメンバー校であるタイ王国チュラーロンコーン大学政治学部と共同で「第1回国際開発フォーラム in タイ」を開催しました。

このフォーラムでは、名古屋大学大学院国際開発研究科(GSID)研究科長・山形英郎教授による名古屋大学およびGSIDの現況に関するプレゼンテーション後、GSID岡田亜弥教授による基調講演“Achieving Well-being and Gender Equality in Asia”、および、GSID博士後期課程大学院生3名、チュラーロンコーン大学政治学部博士後期課程(MAIDS-GRID)大学院生2名による研究発表が行われました。それぞれの研究発表に対し、GSIDおよびMAIDS-GRIDの教員がディスカッションをつとめました。参加者は日本から出張したGSID関係者、GSID修了生、チュラーロンコーン大学教職員・大学院生、名古屋大学バンコク事務所関係者、および名古屋大学全学同窓会タイ国支部長等、計55名に上りました。なお、フォーラムに関連するチラシ、プロシーディング、発表スライドはGSIDのホームページでダウンロードすることができます。

2つ目の行事は、フォーラムの後に開催されたGSID同窓会タイ支部の立ち上げです。この記念すべき行事に、名古屋大学全学同窓会タイ国支部長、Dr. Apinun SUPRASERTも同席しました。Dr. Phakpoom TIPPAKOON(2011年修了・タマサート大学准教授)がGSID同窓会タイ支部の会長をつとめることになりました。任期は1年間、2020年1月1日から12月31日までです。GSID同窓会タイ支部の総会において、2020年中に多くの修了生や関係者が参加しやすい学術的行事および懇親会を企画することが決定しました。

以上の2つの行事を通して、名古屋大学およびチュラーロンコーン大学間の交流促進、GSID修了生間のネットワーク強化をはかることができました。この行事がきっかけとなり、インドネシアやカンボジアでも同様の行事を開催したいとの動きがおこっています。



GSID同窓会タイ支部懇親会の様子

名古屋大学経済学部 / 経済学研究科 創立百周年記念事業 国際経済政策研究センター国際シンポジウム 『持続可能な発展のためのイノベーション』

申請代表者：福澤直樹
(経済学研究科・研究科長(当時))

2020年に百周年を迎える名古屋高商・名古屋大学経済学部 / 経済学研究科の周年記念事業のプレ企画として、「経済学研究科附属国際経済政策研究センター」と「一般社団法人キタン会」は、2019年11月20日から三日間にわたり、第31回国際経済政策研究センター・キタン国際学術シンポジウム「持続可能な発展のためのイノベーション」を開催しました。国際貿易振興機構・アジア経済研究所、湖北経済大学とも共催し、中国、シンガポール、オーストラリア、ドイツ、スウェーデン、タイなどの国々と国内から合計101名の参加を得て活発な議論を行いました。その課題として、国連の持続可能な発展目標SDGsを中心に、気候変動、グリーン・低炭素経済、環境保護、技術革新、未来のエネルギー、および国際協力の在り方などを含み、関連分野の一層の研究強化を呼びかけました。

その初日である11月20日は一般の皆様へ公開する基調講演会とし、全学同窓会からのご支援により、日本語と英語、また中国からの参加者も多いため中国語も加えた3チャンネルの同時通訳のファシリティーを整えつつ、野依記念学術交流館にて開催しました。Kaveh ZAHEDI・国連アジア太平洋経済社会委員会副事務局長、王毅・中国全国人民代表大会常務委員会委員、高橋康夫環境省参与、賀克斌清華大学環境学部長、Andreas Löschelドイツ科学技術アカデミー会員・ミュンスター大学教授、増田義彦豊田工業大学理事長ら計9人が、国連のSDGs目標と東南アジア諸国の努力、中国の大気クリーン化活動の進展と問題、日本の水素自動車の開発とゼロエミッション社会の企画などについて、一般の皆様にも分かりやすいかたちで講演を行いました。また当研究科の薛進軍教授は、低炭素の経済学をはじめ、名古屋大学発の「持続可能な発展学」の研究成果を披露し、これからの連携と共同研究の強化を呼び掛けました。

この公開シンポジウムにより、経済学部 / 経済学研究科の国際的研究活動並びに協力体制の成果を広く情報として発信し、また環境問題という人類共通の課題に対し学術分野の垣根を越えて議論する場を設けることとなり、研究活動の社会へ向けての情報発信・情報共有という全学同窓会の理念に合う活動ができたと考えております。ご支援まことにありがとうございました。



公開シンポジウム会場の様子

支部・部局便り News from the Alumni Associations of Different Schools and Regions

部局や地域ごとの同窓会から寄せていただいた便りを掲載します。それぞれが全学同窓会と連携しながら活動しています。

Here you can find announcements and news from alumni associations of schools and/or regions. These associations and NUAL are cooperating with each other to everyone's benefit.

上海支部 NUAL Shanghai Branch

名古屋大学中国同窓生有志と松尾総長との懇談

5月28日、名古屋大学中国交流センターのテレビ会議システムを利用し、中国人同窓生有志による名古屋大学への寄附について、名古屋大学との懇談が行われました。名古屋大学からは、松尾清一総長、木村彰吾副総長、張紹良中国交流センター長と宮野浩治 Development Office 課長が、名古屋大学全学同窓会上海支部からは張豪副会長、楊弋濤幹事、劉蕾氏、李天一氏と楊小萍氏が参加しました。

張副会長より今回の寄附活動の経緯について説明がありました。日本の新型コロナウイルス感染症のことを知り、名大を応援したいという思いで、中国人卒業生を対象とした募金活動を行ったところ、193人の卒業生から104,500元（1,582,130円相当）の寄附が集まりました。続いて、張副会長から同窓生26人のメッセージが松尾総長に送られました。

その後、中国同窓生の名大への支援に対し、松尾総長より感謝の言葉が述べられ、「新型コロナウイルス感染症対策緊急学生支援基金」を設立し、同窓生をはじめとする学内外の方々より温かいご支援をいただいていることなどのお話がありました。松尾総長は「今後はネットを使って、同窓会メンバーの皆さんとの交流を増やし、早く皆さんとお会いしたいと思います。」と述べられ、張副会長が代表して松

尾総長から感謝状を受け取りました。

たとえどんなに離れていても、私たちの心は名大とずっと一緒にあります。満開の桜の下で再会する日を楽しみにしています。



懇談の様子

同窓会・大学行事カレンダー

全学同窓会、部局同窓会、及び、大学に関する行事が下記のとおり開催されます。

詳細は、全学同窓会ホームページ <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/> をご覧下さい。

○農学部同窓会 関東支部

第23回農学部同窓会関東支部総会（オンライン会議）

日時：2020年（令和2年）11月14日（土）午後2：00～4：00

内容：1 支部からの報告（支部長ほか）

2 講演「東海国立大学機構と農学教育研究」

土川 覚さん

（名大大学院生命農学研究科長・農学部長

H1林産 M）

3 参加者の自己紹介（各人30秒～3分）

4 学生歌斉唱と記念撮影

5 閉会挨拶（同窓会会長）

参加方法：無料です。アプリ ZOOM を支部 HP からダウンロードして下さい。

（詳細は支部 HP をご覧下さい）

⇒ <http://www.nua-alumkanto.sakura.ne.jp/>

連絡先：支部長石川靖文 ⇒ E-mail alum-kan@agr.nagoya-u.ac.jp

事務局からのお知らせ From the NUAL Office

●支援会費のお願い Call for contributions

名古屋大学全学同窓会の活動は、皆様からの支援会費、寄附金に支えられています。支援会費は年度ごとのお支払いとなります。皆様のご協力をお願いします。

○支援会費 Supporting Fee

支 援 会 員 Supporting member : 一口 5,000円

支 援 法 人 会 員 Supporting institution : 一口 50,000円

○お支払い方法

郵便振替 Post Office Account 口座番号 : 00860-8-113043

自動引落利用ご希望の方は、預金口座振替依頼書をお送りしますので、同窓会事務局にご連絡ください。

●住所等の登録・変更について NUAL member registration

全学同窓会では、名古屋大学と連携して、名古屋大学卒業生等電子名簿を整備し、大学及び同窓会からの情報発信を行っています。住所等の変更があった場合は、名古屋大学卒業生等電子名簿システム (<https://web-honbu04.jimu.nagoya-u.ac.jp/nual/>) の情報を更新いただきますようお願いいたします。

お問合せ先 : 名古屋大学 Development Office (DO 室) 卒業生等電子名簿担当

052-747-6559 (9:00~16:00) sotugyoumeibo@adm.nagoya-u.ac.jp

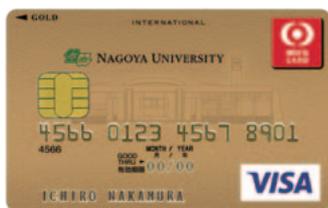
「名古屋大学カード」の入会のご案内

～ 名古屋大学カードで繋がる大学支援 ～

全学同窓会は、同窓生と母校との連携強化・大学支援の充実を目指し、「名古屋大学カード」を発行しており、利用金額の一部が同窓会に還元されます。

◆名古屋大学カード ～ ゴールド ～

入会者は**17,000名**を超えています。



年会費永年無料! 家族会員様も1名様に限り無料。
ポイントがたまる! 家族会員様のご利用分もまとめて本会員様へ付与。

- 国内・海外旅行傷害保険付帯 最高3,000万円
- ショッピング保険 年間補償限度額 200万円
- 空港ラウンジサービス

入会方法について

① WEB からのご入会をご希望の方

名古屋大学全学同窓会 HP からお申込みください
⇒ <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

② 入会申込書からのご入会をご希望の方

名古屋大学全学同窓会へ入会申込書をご請求ください
⇒ TEL/FAX : 052-783-1920 (受付 : 9:00~17:00)

●カード優待サービス企業の紹介 <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/information/OBservice.html>

●カード優待サービスの企業を募集しています。 詳細は全学同窓会事務局へお問い合わせください。

編集後記

従来盛り沢山の内容でお届けしております NUAL が、新型コロナウイルスの影響でこのような縮小版になるとは思いもよみませんでした。その中でも、中国人同窓生による名古屋大学への寄附のニュースは大変心強いものとなりました。再び充実した紙面がお届けできる状況が早く訪れることを願っております。多くの卒業生の皆様の変わらぬご支援をどうぞよろしく願いたします。

(全学同窓会広報委員会)

NUALNewsletter No.34 令和2(2020)年10月発行

Nagoya University Alumni Association

NUAL 名古屋大学全学同窓会

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 TEL/FAX 052-783-1920

E-mail nual-jimu@adm.nagoya-u.ac.jp

ホームページ <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

編集 : 名古屋大学全学同窓会広報委員会